

企業周辺の文化を訪ねる

—— しいなりい ——

広島県

東広島市



「酒都西条」を核に栄える 旧くて新しい市

1974(昭和49)年に誕生し、今年、市制施行40周年を迎える東広島市は、広島県の中央に位置しています。その中心地である西条は、兵庫の灘、京都の伏見と並ぶ銘醸地。西国街道の宿場町として、旅人たちをもてなしてきました。昭和の初めに、この地を「酒の新都」と称した俳人・河東碧梧桐(かわひがしへきごとう)も西条の酒に魅せられたひとりです。



取材・写真協力: (公社)東広島市観光協会
賀茂鶴酒造株式会社

① 酒都西条酒蔵通り

JR西条駅付近には8社の醸造所が建ち並んでいます。酒蔵の白壁やなまこ壁、赤煉瓦の煙突が織りなす景観は、歴史ある酒都ならではの風情。酒造りの季節には、ほのかな新酒の香りに包まれます。



② 御茶屋(本陣)跡

江戸時代に「西国街道」の宿場町として栄えた西条四日市には、藩直営の御茶屋本陣がおかれました。現在では、その跡地に表御門が復元され、外観のみ自由に見学することができます。



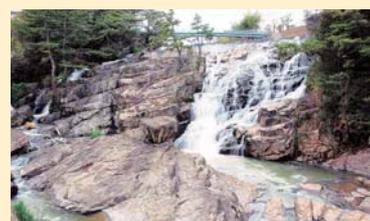
③ 賀茂鶴酒造

広島を代表する酒蔵。吟醸酒造りでは全国トップクラス。1898(明治31)年、佐竹機械製作所から高度精米技術につながる日本で最初の動力精米機を納入。これは当時、画期的なことでした。



④ 三ツ城古墳

全長約92m、高さ約13m、国史跡に指定されている県内最大の前方後円墳。現在は公園としても親しまれ、出土した副葬品や埴輪などは、東隣の中央図書館で見ることができます。



⑤ 吾妻子の滝

水飛沫をあげて約15mの落差を流れる様は圧巻。かつては左右に分かれ雄滝・雌滝と呼ばれていました。滝の西側には、源氏ゆかりの宝篋印塔が納められた吾妻子観音堂があります。